

日本看護技術学会第15回学術集会

看護技術学の新たな挑戦

今、ふたたび“その人らしく生きる”を問う

本学術集会では、看護が目指す「その人らしく生きる」を切り口に、看護技術学や看護実践を再考し、看護技術学の新たな方向性について肩ひじを張らずに語り合いたいと思います。看護技術のエビデンスの構築に向けた研究を統合することや新たな研究デザインを編み出すことを通して、看護技術研究における真摯な取り組みの継続と看護実践の向上につながる学術集会にしたいと考えています。

日時：2016年9月24日(土)・25日(日)

会場：高崎健康福祉大学(群馬県高崎市)

プログラム：

〈キーセッション〉

「気持ちよさ」をもたらす看護ケア理論の開発に向けて 縄秀志(高崎健

康福祉大学)

今、看護の本流を問う意味 川嶋みどり(日本赤十字看護大学)

看護理論開発の方法とプロセス 田代順子(聖路加国際大学)

三陸に咲いた花々——傷んだその地と人々と共に歩んできた軌跡 近藤愛哉(盛岡聖書バプテスト教会)

看護技術と看護実践——その構成要素と効果 菱沼典子(聖路加国際大学)

〈シンポジウム〉

看護技術学における研究方法の発展——研究成果を実践で活用するために

Part-1 いわゆる精神物理学的手法による痛みのケアのエビデンス探求
深井喜代子(岡山大学)／経験知から学び科学知を探求する基礎研究の取り組み 武田利明(岩手県立大学)

Part-2 看護ケアにおける描写の語りの変化は検証できるか：言語分析の可能性 矢野理香(北海道大学大学院)／看護における「安楽」の追求 佐居由美(聖路加国際大学)

参加費：

8/15までに振込の事前参加登録(当日参加登録)：

会 員：1万円(1万1000円)

非会員：1万1000円(1万2000円)

学 生：4000円(4000円)抄録集有

2000円(2000円)抄録集無

参加申し込み法：7/29までに大会サイトでオンライン登録

問い合わせ先：

〔事務局〕

高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科(武田貴美子)

TEL. 027-352-1291

〔運営事務局〕

株式会社 klar(水谷、伊東)

TEL. 027-260-9525

FAX. 027-260-9322

E-mail：jsnas15@klar.co.jp